

三條市子ども・若者総合サポートシステム 平成 23 年度活動実績・平成 24 年度活動計画 【全 体】

《平成 23 年度活動実績》

1 子ども・若者総合サポートシステムにおける支援対象者の把握状況と対応

(1) 把握件数

被虐待、問題行動等の問題がある子ども及びシステム登録希望者について、子育て支援課・学校教育課で情報の共有を図り、子どもの支援情報の一元化、データベース化を行った。

＜子ども・若者総合サポートシステム把握件数＞ (平成 24 年 3 月末現在)

区分	虐待	非行	不登校	障がい	ひきこもり (若者)	実人数
人数 (人)	116 (26) (再) 特定妊婦 1	46 (8)	98 (17)	291 (26)	5 (1)	515 (38)

※ () については、他の区分を重複している件数。詳細は各部会資料参照。

(再掲) 「個人情報の取扱いに関する同意書」提出件数

※ 障がい・ひきこもり(若者)の区分について、本人または保護者より「個人情報の取扱いに関する同意書」の提出件数。

区分	虐待 *本来提出不要	非行	不登校 *本来提出不要	障がい	ひきこもり (若者)	実人数
人数 (人)	1	/	3	34	5	43
(再) 23 年度新規	1	/	1	1	1	4

＜参考：把握方法＞

カテゴリー	把握の方法
虐待	通告者から子育て支援課への通告受理により把握 (随時)
非行	各学校から学校教育課への連絡により把握 (事案発生時)
不登校	各学校から学校教育課への報告により把握 (毎月)
障がい	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育課で把握している特別支援教育対象児童・生徒の名簿等の共有により把握 (年度当初、その後随時) ・「個人情報の取扱いに関する同意書」の受理により把握 (随時)
ひきこもり (若者)	「個人情報の取扱いに関する同意書」の受理により把握 (随時)

(2) 「個人情報の取り扱いに関する同意書」受理後の対応

教育委員会内部で受理会議を開催し、現在の支援状況を確認する。必要時には関係者による個別ケース検討会議を開催し、支援体制の構築・見直しを行う。その後も支援状況確認時期を決め、継続して見守りを行っている（受理後の対応事例：別紙1参照）。

2 子ども・若者総合サポート会議開催状況

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等	参加機関数
代表者会議	第1回	6月30日	三条市役所 栄 庁舎	(1) 子ども・若者総合サポートシステム（全体・各部会） 平成22年度活動実績・平成23年度活動計画について (2) 関係機関・組織における 平成22年度活動実績・平成23年度活動計画について	30 機関
実務者会議	計4回	虐待防止部会	1回	各部会活動実績参照	
		問題行動対応部会	1回		
		障がい支援部会	1回		
		若者支援部会	1回		
個別ケース検討会議	延84回	各部会活動実績参照			

3 周知活動

(1) 保護者等への説明

内 容 等	実施月
対象者：新たに三条市に赴任した教職員 内 容：面識式にて、サポートシステムについて説明	4月
対象者：市内保育所（園）、幼稚園、小中学校及び特別支援学校に通う子どもの保護者 内 容：総合サポートシステム及び「すまいるファイル」についてのチラシの配布	6月
	1月
対象者：平成24年度市内小学校就学予定児童の保護者 内 容：各小学校就学時健診時実施の家庭教育講座で、総合サポートシステムについて説明	10月
対象者：市内高等学校教諭 内 容：市内高等学校を訪問し、総合サポートシステムについて説明	10月
対象者：平成23年度市内中学校卒業予定生徒の保護者 内 容：各中学校の進路説明会で総合サポートシステムについて説明	11月

(2) 視察及び雑誌等への原稿依頼

	内 容 等
視察来条	全国市町村議会 8件 その他 5件
職員派遣	総合サポートシステムについての講演依頼等 6件
原稿依頼：	2誌 （月刊「地域保健」、月刊「地方自治職員研修」）

4 研修会・講演会

会議名	月日	場所	内容等	参加人数
虐待防止部会専門研修会			虐待防止部会活動実績参照	
子どもの虐待防止講演会			虐待防止部会活動実績参照	
発達応援セミナー			障がい支援部会活動実績参照	
ユースアドバイザー資質向上研修			若者支援部会活動実績参照	

5 先進地視察研修

月日	視察先	内容等
2月15・16日	①滋賀県湖南市健康福祉部 社会福祉課発達支援室 ②東京都日野市健康福祉部 発達支援室	①湖南市発達支援システムについて ②(仮称)日野市発達支援センターについて

6 すまいるファイルについて

(1) すまいるファイル配布状況 (平成24年3月末現在)

配布対象	配布数(部)
H23年度出生児・転入児の保護者	821
配布希望者	151
計	972

(2) すまいるファイルの改訂

平成22年度実施のアンケート結果を活かし、下記のようにすまいるファイルを見直し・改訂した「すまいるファイルVer. 2」を10月より配布した。

「すまいるファイルVer. 1」のアンケート結果	「すまいるファイルVer. 2」での改善部分・方法
使い勝手が悪い、内容がわかりづらい	成長段階に応じた構成に変更
活用方法がわからない	活用例の掲載
育児に関する情報があると良い	育児に関する一言アドバイスの掲載
自由に記載できる欄があると良い	自由記載できるページの追加
子どもを評価しているようである	育児が前向きになれるような内容を追加(育児に関する一言アドバイスの掲載)
支援の記録は不要である	健常児でも使える内容を盛り込む
重い、厚すぎて使いにくい	紙の厚さを変更
記入するところが多すぎる	記入事項の精査
大きすぎて持ち運びが不便	ファイル全体を持ち歩くのではなく、必要な時に必要なページを持ち歩くよう周知

(3) すまいるファイルの記入・活用方法の周知

- ・母子保健事業に従事する保健師への周知
- ・活用方法の周知チラシを作成し、すまいるファイルと同時配布
- ・乳幼児健診時に記入・持参してもらい、活用方法について周知

7 成果・課題

活動の成果	活動から見えてきた課題
<ul style="list-style-type: none"> 関係者に対し「子ども・若者総合サポートシステムに登録すれば、なんでもやってくれる」といった誤解を抱かせがちであったが、個別事例を通して実務担当者の理解が深まった。 各会議に関係機関が参集する事でお互いの機能を認識し、顔の見える関係づくりが進んだ。 中学卒業時点での「個人情報の取り扱いに関する同意書」提出により、卒業後も関係機関が連携して支援体制づくりを行うことができた。 すまいるファイルについては、実際に支援が必要になった時に活用できるようにするため、乳児期からすべての保護者に活用してもらえるような内容に改訂し、子育て支援課で行っている乳幼児健診に持参してもらうことで活用が進んだ。 関係機関の職員にすまいるファイルが認知されてきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 義務教育終了後のひきこもりや発達障がいなど、潜在的なニーズの掘り起こしのため、さらに周知をしていく必要がある。 「個人情報の取り扱いに関する同意書」提出ケースについて、支援体制の検討を継続して行う仕組みはできたが、その後の支援体制の確認時期や確認の方法について、虐待以外もシステム化させる必要がある。 全体としてシステムの存在は知られてきたが、どのような時に利用すればよいのか、登録後の支援内容等の理解はまだ進んでいないため、システムに対する理解を深めるための周知活動が必要である。

《平成 24 年度活動計画》

1 子ども・若者総合サポート会議開催計画

会議名	回	月 日	場 所	内 容 等
代表者会議	第1回	5月29日	三条市役所 栄 庁 舎	(1) 子ども・若者総合サポートシステム【全体・各部会】 平成 23 年度活動実績・平成 24 年度活動計画について (2) 関係機関・組織における 平成 23 年度活動実績・平成 24 年度活動計画について
実務者会議	計6回	虐待防止部会	2回	各部会活動計画参照
		問題行動対応部会	1回	
		障がい支援部会	2回	
		若者支援部会	2回	
個別ケース検討会議	随時			各部会活動計画参照

2 子ども・若者総合サポートシステムの周知拡大

(1) 関係機関に対する周知活動の充実

- ・小中学校養護教諭に対し、総合サポートシステムについて周知
- ・小中学校の生徒指導研修会において、総合サポートシステムについて周知
- ・三条市内及び近隣の高等学校教職員に対し、総合サポートシステムについて周知
- ・その他、各部会活動計画参照

(2) 市民に対する的確な周知活動

- ・保育所（園）、幼稚園、小中学校及び特別支援学校へのチラシ配布（夏休み前、春休み前の2回実施予定）
- ・就学時健診時の家庭教育講座において、総合サポートシステムや各種相談窓口について周知
- ・中学3年生の保護者に対し、各学校の進路指導説明会で総合サポートシステムや各種相談窓口について周知
- ・その他、各部会活動計画参照

3 すまいるファイルについて

すまいるファイルの記入・活用方法の周知

- ・母子保健事業に従事する看護師、助産師、保健師への周知
- ・活用方法の周知チラシの配布